

# 高槻市

## 高槻市における精神障がいにも対応した 地域包括ケアシステムの構築に向けて

高槻市では、令和2年度から既存の高槻市精神保健福祉関係機関連絡会議を「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」構築の協議の場として開催。医療・福祉などの関係機関との連携を強化し、地域課題の共有、及び相談支援の充実を図っています。

1 高槻市（中核市）の基礎情報

大阪府  
高槻市



出典：ReMHRAD

取組内容

【関係機関同士の顔の見える関係づくり】

- ・精神障がい者の退院促進等を推進するため、医療・福祉などの関係機関との連携を強化し、地域課題の共有、及び相談支援の充実を図っている。
- ・コロナ禍に構成機関にアンケートを実施し、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構成要素ごとに検討し、地域課題の整理と今後の会議の方向性について協議を行った。
- ・構成機関等の特色や強みを知るための情報共有ツール作成を目的としたワーキングを立ち上げ、連携の推進を図っている。

基本情報

<基本情報入力シート>

高槻市

障害保健福祉圏域数（R6年9月末時点）	1	か所	
市町村数（R6年9月末時点）	1	市町村	
人口（R6年9月末時点）	346,021	人	
精神科病院の数（R6年6月1日時点）	4	病院	
精神科病床数（R6年6月1日時点）	756	床	
入院精神障害者数 （R5年6月末時点）	合計	625 人	
	3か月未満（％：構成割合）	258 人 41.3 %	
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	105 人 16.8 %	
	1年以上（％：構成割合）	262 人 41.9 %	
	うち65歳未満	78 人	
	うち65歳以上	184 人	
退院率	入院後3か月時点	市単位（政令指定都市を除く）で公表されていない	
	入院後6か月時点		
	入院後1年時点		
相談支援事業所数 （R6年4月時点）	基幹相談支援センター数	1 か所	
	一般相談支援事業所数	11 か所	
	特定相談支援事業所数	20 か所	
保健所数（R6年9月末時点）	1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度（R5年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	3 回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R6年9月末時点）	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域 市町村	有・無	1 / 1 か所/障害圏域数 か所/市町村数

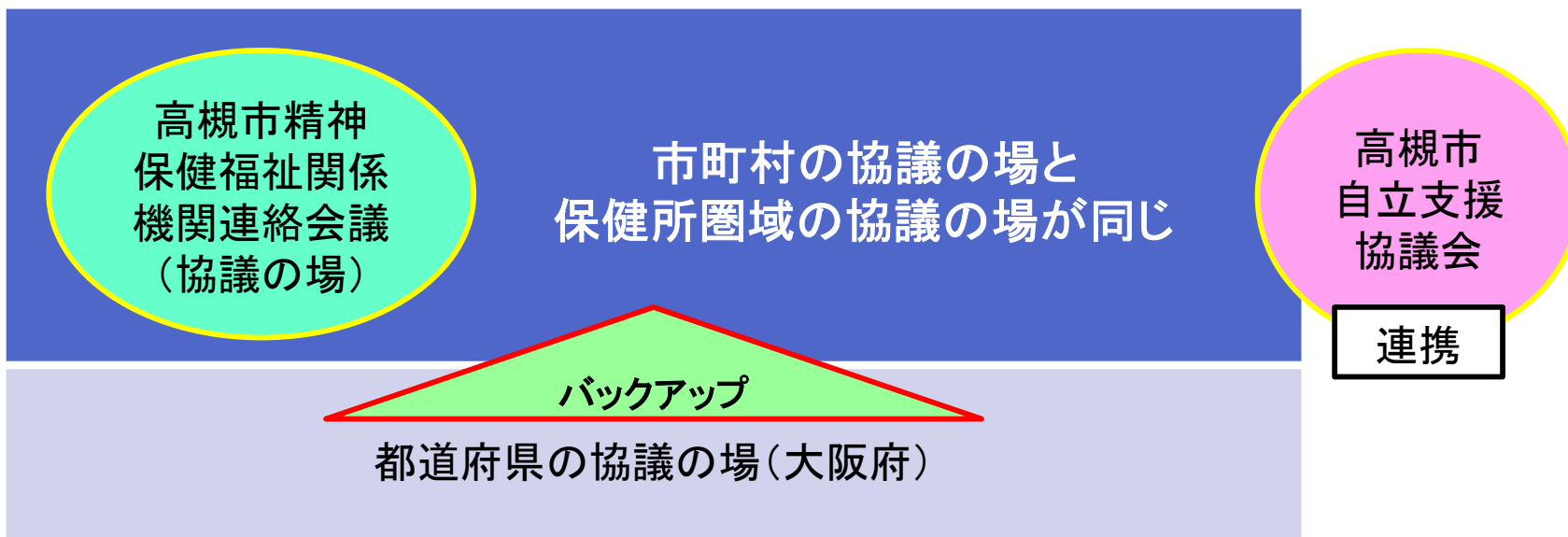


TAKATSUKI  
HANITAN

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### 構成機関

- ・精神科医療機関（大阪府精神科病院協会含む）
- ・訪問看護事業所
- ・障がい福祉事業所
- ・大阪府生活基盤推進課
- ・障がい者・就業生活支援センター
- ・障がい福祉事業所
- ・地域包括支援センター
- ・庁内関係課



### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- ・令和2年度に既存の高槻市精神保健福祉関係機関連絡会議を活用し、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」構築の協議の場を設置(事務局は市保健所)。包括的な支援体制の構築に向け、自立支援協議会と継続的に連携を進めるとともに、協議の場において、精神障がい者の退院促進等を推進するため、医療・福祉などの関係機関との連携を強化し、地域課題の共有、及び相談支援の充実を図ることとした。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協議の場が書面会議となる等、具体的な協議が困難であったが、アンケートにより構成機関の意見集約を図った。
- ・対面会議が可能になって以降、本市の精神保健福祉の現状や取組みについて情報共有。実施したアンケート結果を精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構成要素ごとに検討し、地域課題の整理と今後の会議の方向性について協議を行った。また、事例検討会等を実施することで、各機関の特色や強みを共有し、相互連携の構築を図った。
- ・令和5年12月から構成機関等の特色や強み等を形にすることを目的に情報共有ツール作成ワーキングを立ち上げ、連携の推進を図った。

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

## ＜昨年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度末)	具体的な成果・効果
①保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数	年2回	年2回	目標値どおり年2回本会議を開催。
②保健、医療及び福祉関係者による協議の場への関係者の参加人数(合計)	年40人	年52人	目標値を超える52人が参加した。 ※事務局からの参加者数は実績値から除いて算出している。
③保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標設定および評価の実施回数	年1回	年1回	目標値どおり、年1回開催した。なお、評価の実施は協議の場において行った。

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

## 【特徴(強み)】

- 包括的な支援体制の構築に向け、コロナ禍に構成機関を対象にアンケートを実施し、各機関の特長や協議したいテーマ、精神障がい者の地域生活に関する意見を集約し、情報共有を行った。
- アンケート結果を精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構成要素ごとに検討し、地域課題の整理と今後の会議の方向性について協議を行った。
- 事例検討会を実施し、各機関の抱えている悩みや問題を共有するとともに、好事例の紹介も行い、地域生活の促進について考える機会を設けた。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
● 包括的な支援体制の構築の具体化	● 構成機関等の特色や強み等を形にすることを目的に情報共有ツール作成ワーキングを立ち上げ、連携の推進を図っている。	行政	ワーキング参加+情報共有ツール記載
		医療	ワーキング参加+情報共有ツール記載
		福祉	ワーキング参加+情報共有ツール記載
		その他関係機関	ワーキング参加+情報共有ツール記載

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (今年度末)	見込んでいる成果・効果
①協議の場の開催回数	年2回	年2回	各構成機関の特色や強み、地域課題整理等
②協議の場への関係者の参加人数(合計)	年40人	年40人	構成機関を中心とした連携強化
③協議の場における目標設定および評価の実施回数	年1回	年1回	協議の場において目標設定および評価を実施

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

### 【にも包括構築の体制】

●包括的な支援体制の構築に向け、自立支援協議会と継続的に連携を進めるとともに、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」に関する協議の場を開催し、医療・福祉等の機関との連携強化、地域課題の共有、及び相談支援の充実を図る。

所管部署名	所管部署における主な業務
保健所 保健予防課 (精神保健チーム)	精神保健業務、自殺対策等

連携部署名	連携部署における主な業務
福祉相談支援課	高齢者・障がい者・生活困窮者への支援 および権利擁護に関する支援
障がい福祉課	障がい者(児)福祉に関する業務全般
生活福祉支援課	生活保護業務

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	事務局である保健予防課が担っている。	協議の場に加え、ケースワーク、嘱託医相談等を通じて、各機関との関係構築に努めている。
医療	本会議に加え、ケースワーク等を通じて情報交換しながら連携を図っている。	精神科単科病院、精神科クリニック、入院病床のある総合病院、入院病床のない総合病院があり、医療機関が豊富。また、精神科単科病院には認知症病棟、アルコール病棟をもつ病院もある。訪問看護ステーションも多い。
福祉	本会議に加え、ケースワークや自立支援協議会等を通じて情報交換しながら連携を図っている。	地域での生活を支える存在として、密に関係を持ちながら、連携している。
その他関係機関	就労関係機関とは本会議だけでなく、たかつき就労ネット精神ワーキング(たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワークのワーキングチーム)を通じて情報交換しながら連携を図っている。	たかつき就労ネット精神ワーキングでは、事業所紹介や現状、研修情報等を発信し合うことで、連携強化が図られている。

## 7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成機関	開催頻度	実施内容	特記事項等 (課題・強み等)
高槻市精神保健福祉関係機関連絡会議	医療機関、福祉機関、就労機関、行政機関	・本会議 年2回	医療・福祉等の機関との連携強化、地域課題の共有、及び相談支援の充実を図っている。	
情報共有ツール作成ワーキング	協議の場の構成機関から10機関が参加 (事務局含む)	・2ヶ月に1回	構成機関の特徴や強み等をまとめ、関係機関で活用するための情報共有ツール作成を行っている。	

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

●構成機関との連携、大阪府からのバックアップ体制があるため、特にありません。



## 8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

短期目標 (今年度)	精神保健福祉関係機関連絡会議を2回実施し、相談体制の更なる充実に向けて、情報共有ツール作成や、講師による講話等を実施し、各機関との連携、ネットワーク作りに取り組む。	
スモール ステップ	本市及び国、府における精神医療保健福祉に関する情報提供を実施。	
時期(月)	実施内容	具体的な取組(議題)
R6年7月	令和6年度第1回 高槻市関係機関連絡会議 コア会議	(1)高槻市における精神医療保健の現状について (2)情報共有ツール作成ワーキングの進捗状況について (3)事例検討会の事例について (4)本会議の議題(案)及び今後の方向性等について
R6年9月	令和6年度第1回 高槻市関係機関連絡会議 本会議	(1)高槻市における精神医療保健の現状について (2)「にも包括」に関連する計画及び取組について (3)情報共有ツール作成ワーキングの進捗状況について (4)事例検討会
R7年1月	令和6年度第2回 高槻市関係機関連絡会議 コア会議	(予定)今後の方向性について
R7年3月	令和6年度第2回 高槻市関係機関連絡会議 本会議	(予定)今後の方向性について (予定)情報共有ツール作成ワーキングの進捗状況について
R6年6月～R7年2 月(2ヶ月に1回)	情報共有ツール作成ワーキング	○情報共有ツールの作成